

**【厚生労働省令和2年度障害者総合福祉推進事業】**  
**「障害者の多様な働き方と支援の実態に関する調査研究」**  
**在宅訓練・就労の取組状況に係る調査 質問項目リスト**

依頼状記載のURL(QRコード)にアクセスすると、回答用フォームとして以下の設問が表示されますので、表示や注意書きに従い回答を入力して、画面を進めてください。

回答については、各設問に特段の断りがない限り、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

なお、4ページ目以降は任意回答となっており、未入力でも画面を進め回答を完了することが可能ですが、可能な限り回答にご協力いただくようお願い申し上げます。

※本票は回答の下書きとしてご利用ください。

※実際の回答フォームはご回答いただいた内容によって設問が分岐するため、本リストに掲載の設問全てに回答いただくものではございません。本リスト上では、設問の分岐点に赤字にてガイドを示しております。

## 1. ご回答者様について

- ・法人名・事業所名
  - ・事業所番号(半角数字10桁) ※回答の重複の確認等に使用します。
  - ・ご担当者様のお名前・役職・連絡先(電話番号またはメールアドレス)
- ※以上はいずれも必須回答としておりますが、集計の対象とはいたしません。

## 2. 事業所の基礎情報について

問1. 貴事業所の経営主体について、以下のうち該当するもの一つを選択してください。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 国、都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合、独立行政法人<br>2. 社会福祉法人<br>3. 公益/一般財団法人・公益/一般社団法人 | 4. 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)<br>5. 医療法人<br>6. 特定非営利活動法人(NPO)<br>7. その他の法人(農協、生協、学校法人等) |
|--|--|

問2. 各就労系サービスについて、令和2年度における基本報酬の区分(昨年度実績)を選択ください。

※ 提供していない(指定を受けているが利用者がいない、廃止した、指定を受けていない)場合には「現在提供なし」を選択ください。

※ 昨年度実績がない(今年度新規に指定された・昨年度休止していた等)場合には、現在算定している基本報酬にかかわらず「昨年度実績なし」を選択ください。

	基本報酬の区分(昨年度の就職後6月以上定着率)		
就労移行支援	1. 5割以上	4. 2割以上3割未満	7. 0割
	2. 4割以上5割未満	5. 1割以上2割未満	8. 昨年度実績なし
	3. 3割以上4割未満	6. 0割超1割未満	9. 現在提供なし
	基本報酬の区分(昨年度の1日当たり平均労働時間)		
就労継続支援A型	1. 7時間以上	4. 4時間以上5時間未満	7. 2時間未満
	2. 6時間以上7時間未満	5. 3時間以上4時間未満	8. 昨年度実績なし
	3. 5時間以上6時間未満	6. 2時間以上3時間未満	9. 現在提供なし
	基本報酬の区分(昨年度の平均工賃月額)		
就労継続支援B型	1. 4万5千円以上	4. 2万円以上2万5千円未満	7. 5千円未満
	2. 3万円以上4万5千円未満	5. 1万円以上2万円未満	8. 昨年度実績なし
	3. 2万5千円以上3万円未満	6. 5千円以上1万円未満	9. 現在提供なし

問3. 各就労系サービスについて、提供するサービスごとに①令和2年10月の1日当たり平均利用者数、②支援に当たる職員数(就労支援員、職業指導員、生活支援員の常勤換算数(※)の合計)を入力ください。

※ 従業者の勤務延時間数を、当該事業所において常勤の従業者が勤務すべき時間数(週32時間を下回る場合は週32時間を基本とする。)で除することにより計算する方法です。

【計算例】常勤者が勤務すべき時間数が週40時間(4週160時間)の場合

4週128時間の非常勤者A+4週96時間の非常勤者Bの常勤換算数は、 $(128+96) \div 160 = 1.4$ となります。

	①1日の平均利用者数	②支援に当たる職員の常勤換算数
就労移行支援	人	. 人
就労継続支援A型	人	. 人
就労継続支援B型	人	. 人

問4. 利用者(提供する就労系サービスの利用者全て)の障害種別について、多い順に1から数字を選択してください。※重複の場合には主たる障害に含めてください。

身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	内部障害	その他

問5. 貴事業所で利用者へ提供している訓練やプログラムの内容について、以下のうち該当するものすべてを選択してください。

<b>【各種講習・演習】</b> 1. 自己理解 2. コミュニケーション 3. 生活習慣 4. 疾病・障害理解 5. ストレス対処 6. ビジネスマナー 7. 職場見学 8. 通勤訓練 9. 調理・家事訓練 10. 運動、スポーツ 11. レクリエーション 12. その他の講習・演習	<b>【就職活動支援】</b> 13. 履歴書の書き方と面接練習 14. 自己分析や自己PR作成支援 15. 業界・企業研究、相談 16. 求職先の企業見学、実習 17. その他就職に関する相談・支援 <b>【生産活動(賃金・工賃が発生する)】</b> 18. 製造・組立作業 19. サービス・接客業務 20. PCを利用した事務作業 21. PCを利用しない事務作業 22. 通信・WEB制作・更新 23. 農作業 24. その他の作業、仕事	<b>【作業訓練(賃金・工賃が発生しない)】</b> 25. 製造・組立訓練 26. サービス・接客訓練 27. 事務作業訓練 28. PCを利用した作業訓練 29. その他の作業訓練 <b>【利用者との面談、声掛け等】</b> 30. 利用者の健康管理、状態確認 31. 利用者との対話・コミュニケーション 32. 作業や仕事に係る勤怠管理、声掛け 33. 上記以外の相談・助言等
---	--	---

### 3. 在宅での訓練や生産活動の実施状況について

問6. 訓練や作業、支援等を利用者の自宅等(※)において提供することを運営規定や利用契約書において明記していますか。それぞれ該当するもの一つを選択してください。

※「自宅等」には利用者の自宅のほか、グループホームや障害者入所施設、介護保険施設その他の福祉施設も含まれます。(以降の設定も同様)

	はい	いいえ	今後予定している
事業所の運営規定			
利用契約書			

問7. 令和2年10月の1か月において利用者の自宅等で訓練や生産活動（※）を実施した利用者はいましたか。以下のうち該当するもの一つを選択してください。

※利用者の自宅等において実施する訓練や生産活動とは、「就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型、B型）における留意事項について」（平成19年4月2日障発第0402001号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知。以下「留意事項通知」と呼びます。）5（3）に基づき利用者の自宅等において実施され、基本報酬の算定対象となる訓練や生産活動を指します。（以降の設問も同様）

1. 令和2年10月の1か月間に自宅等において訓練や生産活動を実施した利用者がある。
2. 令和2年10月の1か月間に自宅等において訓練や生産活動を実施した利用者はいない。

**【1を選択された方は問8へ、2を選択された方は問19（7ページ）へ進みます。】**

問8. 問7でお答えいただいた、令和2年10月の1か月間に利用者の自宅等において実施された支援の中には、工賃（賃金）の対象となる業務・生産活動がありましたか。以下のうち該当するもの一つを選択してください。

1. 令和2年10月の1か月間に自宅等において工賃（賃金）の支給対象となる業務・生産活動を実施した利用者がある。
2. 令和2年10月の1か月間に自宅等において工賃（賃金）の支給対象となる業務・生産活動を実施した利用者はいない。

**【1を選択された方は問9（4ページ）へ、2を選択された方は問11（5ページ）へ進みます。】**

以下の問9、問10は令和2年10月の1か月間に利用者の自宅等において実施した工賃（賃金）の支給対象となる業務・生産活動についてお伺いします。

問9. 利用者が自宅等において実施した工賃・賃金の対象となる業務・生産活動の詳細について、以下の（1）～（3）のそれぞれから該当するものすべてを選択してください。

（1）業務・生産活動の受注元の有無

1. 他の企業等から受注している（生産したものは他の企業等に納品している）  
（例：WEB ページのデザインや作成、機械部品の製造・組立等）
2. 独自の製品等を製造・販売している（生産したものは自前で販売・出荷している）  
（例：アプリケーションの開発・販売、器械製品の製造・販売）

（2）業務・生産活動の内容

- |  |  |
|--|--|
| <p>【製造・組立作業】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 部品の切り出し・組立・仕分け等</li><li>2. 製品・商品の仕分け・梱包</li><li>3. 広告や印刷物の折り込み</li><li>4. 備品・部品の洗浄、メンテナンス</li><li>5. その他の製造・組立作業</li></ol> <p>【サービス・接客業務】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>6. 電話交換・取り次ぎ</li><li>7. コールセンター業務</li><li>8. その他のサービス・接客業務</li></ol> <p>【通信・ICT サービス】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>9. Web ページ作成・更新</li><li>10. Web デザイン</li><li>11. アプリ作成・メンテナンス</li><li>12. Web システムの構築、管理</li><li>13. システムの運用保守</li><li>14. その他の通信・ICT サービス</li></ol> | <p>【農作業】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>15. 農具等のメンテナンス</li><li>16. 種苗の整理、仕分け</li><li>17. 脱穀・精米</li><li>18. 野菜等の洗浄、乾燥</li><li>19. その他の農作業</li></ol> <p>【PC を利用した事務作業】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>20. 文字起こし、会議録作成</li><li>21. データ入力・集計</li><li>22. 文書・書類の作成</li><li>23. その他の PC を利用した事務作業</li></ol> <p>【PC を利用しない事務作業】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>24. 帳簿記帳</li><li>25. 書類作成・整理</li><li>26. その他の事務作業</li></ol> <p>【その他の作業・仕事】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>27. 上記のいずれにも該当しないその他作業<br/>( )</li></ol> |
|--|--|

（3）業務又は生産活動の企業等からの受注状況

1. 常に十分な量を確保できている
2. 以前は十分な量を確保できていたが、ここ2～3年は不足している
3. 以前は十分な量を確保できていたが、今年に入ってから（新型コロナウイルス感染対策の影響以降）は不足している
4. 常時不足している
5. 受注はしていない（自前の製品の製造等）

問10. 利用者の自宅等において実施する工賃・賃金の対象となる業務・生産活動について、貴事業所はいつ頃から取り組んでいましたか。以下のうち該当するもの一つを選択してください。  
※利用者の自宅等において実施する工賃・賃金の対象となる業務・生産活動が複数ある場合には、最も早くから取り組んでいたものでお答えください。

1. 今般の新型コロナウイルス感染対策が始まる前（おおむね令和元年以前）より実施している
2. 今般の新型コロナウイルス感染対策が始まって以降（おおむね令和2年以降）実施している

【問11（5ページ）へ進みます。】

以下の問 11、問 12 は令和 2 年 10 月の 1 か月間に利用者の自宅等において実施した訓練等（工賃（賃金）が発生しないもの）についてお伺いします。

問 11. 令和 2 年 10 月の 1 か月において利用者の自宅等において実施した訓練等（工賃や賃金が発生しないもの）について、以下のうち該当するものすべてを選択してください。

<b>【各種講習・演習】</b> 1. 自己理解 2. コミュニケーション 3. 生活習慣 4. 疾病・障害理解 5. ストレス対処 6. ビジネスマナー 7. 職場見学 8. 通勤訓練 9. 調理・家事訓練	10. 運動、スポーツ 11. レクリエーション 12. その他の講習・演習 <b>【就職活動支援】</b> 13. 履歴書の書き方と面接練習 14. 自己分析や自己 PR 作成支援 15. 業界・企業研究、分析 16. 企業見学、実習 17. その他就職に関する相談・支援	<b>【作業訓練（賃金・工賃が発生しない）】</b> 18. 製造・組立訓練 19. サービス・接客訓練 20. 事務作業訓練 21. PC を利用した作業訓練 22. その他の作業訓練 <b>【利用者との面談、声掛け等】</b> 23. 利用者の健康管理、状態確認 24. 利用者との対話・コミュニケーション 25. 作業や仕事に係る勤怠管理、声掛け 26. 上記以外の相談・助言等
---	---	--

問 12. 利用者の自宅等において実施する訓練等（工賃や賃金が発生しないもの）について、貴事業所はいつ頃から取り組んでいましたか。以下のうち該当するもの一つを選択してください。  
 ※利用者の自宅等において実施する訓練や生産活動が複数ある場合には、最も早くから取り組んでいたものについてお答えください。

- |  |
|--|
| 1. 今般の新型コロナ感染対策が始まる前（おおむね令和元年以前）より実施している<br>2. 今般の新型コロナ感染対策が始まって以降（おおむね令和 2 年以降）実施している |
|--|

以下の問 13、問 14 は利用者の自宅等において実施した全ての訓練や生産活動（工賃・賃金の支給対象となるものもならないものも全て）についてお伺いします。

問 13. 利用者のうち、令和 2 年 10 月の 1 か月において自宅等で訓練や生産活動を恒常的に（週 1 回以上）実施していた方の実人数計と障害種別ごとの内訳を入力ください。

※重複の場合には主たる障害に含めることとし、各障害種別ごとの内訳の合計が実人数計となるようご確認願います。

実人数計	うち身体障害	うち知的障害	うち精神障害	うち発達障害	うち内部障害	うちその他障害
人	人	人	人	人	人	人

問 14. 自宅等で訓練や生産活動を実施している利用者との連絡方法および連絡を取る頻度について、以下の（1）、（2）のそれぞれから該当するものすべてを選択してください。

（1）在宅で支援等を行う利用者との連絡方法	
1. 電話 2. FAX 3. メール 4. チャットアプリ・SNS（LINE、Facebook 等）	5. リモート会議ソフト（Skype、zoom 等） 6. 共同作業ツール（Office 365、Google Suit 等） 7. 訪問（対面での実施） 8. その他
（2）在宅で支援等を行う利用者との連絡頻度	
1. おおむね 1 日 1 回以下 2. おおむね 1 日 2 回～3 回	3. 1 日 4 回以上 4. 常時接続（チャットやリモート会議ツール等を活用）

※留意事項通知 5（3）により 1 日 2 回以上連絡することとされていますが、現在は、「新型コロナウイルスへの対応に伴う就労継続支援事業の取扱い等について（第 3 報）」（令和 2 年 3 月 9 日付厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課事務連絡）により、市町村が適切に支援が可能と認められる場合には要件を緩和することが可能となっています。

**【問 15（6 ページ）へ進みます。】**

#### 4. 利用者の自宅等で行う支援の取組や効果、課題について

問 15. 利用者の自宅等において訓練や生産活動を提供するに当たっての環境整備について、事業所として特に取り組んだ、工夫したことはありますか。以下のうち該当するものすべてを選択してください。

1. 自宅で訓練・生産活動を実施する利用者を使用するための端末や通信機器を事業所の負担で用意した	6. 自宅等で訓練・生産活動に取り組む利用者向けのアセスメント・評価ツール等を策定した
2. 職員が使用するための端末や通信機器を用意した	7. 利用者が自宅等で実施する訓練や生産活動を企画、指導等するための専門職員を雇用・育成した
3. 利用者の自宅等に連絡のための通信回線を事業所の負担で開設した	8. 利用者の自宅等でプログラムや生産活動を実施するためのマニュアルを作成した
4. 利用者との連絡のための（利用者の自宅における）通信費用を事業所が負担している	9. 国や自治体の助成金・補助金を活用して設備や体制の整備を行った
5. 自宅で訓練・生産活動を実施するため、利用者にパソコン等の操作や作業の指導を行った	10. その他（ ）

問 16. 利用者の自宅等において訓練や生産活動を提供するに際し感じている課題について、以下のうち該当するものすべてを選択してください。

1. 仕事や生産活動に必要な業務の受注が不足している	6. 利用者のアセスメント・評価が難しい
2. 自宅等にいる利用者に対し訓練や生産活動を指示・指導するのが難しい	7. 利用者の生活・就業リズムづくりが難しい
3. 仕事や生産活動の効率向上が難しい	8. 事業所職員の意図を適切に伝えるのが難しい
4. 訓練効果の把握が難しい	9. 利用者の家族等に負担が生じている
5. リモートでは利用者の様子が把握しにくい	10. 在宅での支援に係るルール（国通知や自治体の運用）が使いづらい
	11. その他（ ）

問 17. 在宅で訓練や生産活動を始めてからの利用者の様子の変化について、以下のうち該当するものすべてを選択してください。

1. 通所のみで支援するより負担が軽く、効果的に活動・支援できている	5. 生活・就業リズムが崩れ影響が出ている
2. 通所とは異なる活動に取り組んでいる	6. 就労や活動に対するモチベーションが低下している
3. これまでとは異なる業種、業務に取り組んでいる	7. 心身の状態像が低下し、利用継続に支障が生じている
4. 通所とは違う良さ、効果を実感できている	8. その他（ ）

問 18. 利用者の自宅等において訓練や生産活動を実施するに当たり、現在の成果・課題、今後実施したいこと等があれば、自由にご記入ください。

以下の問 19～問 20 は問 7 において「2. 令和 2 年 10 月の 1 か月間に自宅等において訓練や生産活動を実施した利用者はいない」を選択した方にお伺いします。

問 19. 利用者の自宅等における訓練や生産活動について、これまでに実施したことはありますか。以下のうち該当するもの一つを選択してください。

1. 今般の新型コロナ感染対策が始まる前(おおむね令和元年以前)より実施していたが、現在は実施していない
2. 今般の新型コロナ感染対策が始まって以降(おおむね令和 2 年以降)実施していたが、現在は実施していない
3. これまで利用者の自宅等において訓練や支援を実施したことはないが、今後実施を予定している。
4. これまで利用者の自宅等において訓練や支援を実施したことはなく、今後も実施する予定はない

問 20. 利用者の自宅等において訓練や生産活動を提供しない(できない)理由は何ですか。以下のうち該当するものすべてを選択してください。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1. 在宅でできる仕事・生産活動を事業所として用意できない       | 8. リモートでは意思疎通や適切な指示が困難な利用者がいる               |
| 2. 在宅で訓練・生産活動を提供するための設備が用意できない      | 9. 自宅等では集中が困難な利用者がいる                        |
| 3. 在宅で訓練・生産活動を提供する ICT 環境やノウハウがない   | 10. 出勤の緊張感や職場と家の切替がなくなり、利用者の意欲やリズムの維持が難しくなる |
| 4. 職員が確保できない                        | 11. 利用者本人や家族に自宅外で活動したいというニーズがある             |
| 5. 事業所内作業や施設外就労等、自宅外での訓練・生産活動が中心のため | 12. 在宅での支援に係るルール(国通知や自治体の運用)が使いづらい・適用できない   |
| 6. 通所でのサービスよりも費用や手間がかかる・効率的な支援ができない | 13. 在宅での支援に係るルールを知らなかった・わかりにくかった            |
| 7. 希望する利用者がない                       | 14. その他( )                                  |

調査は以上になります。ご協力いただきありがとうございました。